

2017年11月30日

第3ターミナルがより使いやすく、より快適に！ 成田空港第3ターミナルの機能を強化します！

成田空港第3ターミナルは、ローコストでありながら機能性や快適性を備えた施設として2015年4月8日にオープンしました。

陸上競技場を彷彿させる床面の誘導トラックや、座り心地やデザイン性に優れた家具など、斬新でわかりやすい空間は、国内外のお客様からご好評をいただいているだけでなく、SKYTRAX社が実施する国際空港評価（World Airport Awards）のLCCターミナル部門（WORLD'S BEST LOW-COST TERMINAL）において2年連続（2016、2017年）で1位を受賞しています。

オープンから2年半が経過し、予測を上回るLCCの成長により、お客さまが集中する時間帯の出発ロビー等では、手続き待ち行列の長大化等混雑が発生しているため、今般、お客様により使いやすく、快適にご利用いただくため、以下のとおり第3ターミナルの機能を強化いたします。

到着ロビー増築で出発動線と到着動線を分離

現状の第3ターミナルは、到着したお客様が出発ロビー（2階）を通過してターミナル外へ移動する構造となっており、混雑の原因となっています。

これを解消するため、2019年夏までに到着ロビー（1階）を増築し、**出発動線と到着動線の分離**を図ります。

また、増築する到着ロビーがターミナル連絡バス乗降場と直結されることで、スムーズにターミナル連絡バスをご利用いただけるようになります。

「スマートセキュリティ」の導入

国内線と国際線の保安検査場に第1、第2ターミナルでも導入を進めている、より高度で効率的な保安検査機器（スマートセキュリティ）を2019年度末までに導入します。

保安検査の手続きにかかる時間を短縮することで、混雑の緩和を図り、より快適にご利用いただけるようになります。

「インラインスクリーニングシステム」の導入

現在、第3ターミナルの受託手荷物の保安検査は、保安検査員がX線検査装置にて手作業で行っております。これにかわり、手荷物搬送システムと検査機器を一体化し、搬送中に爆発物等の危険物を自動的に検査する「インラインスクリーニングシステム」を2019年度末までに導入します。

これにより、チェックイン手続きにかかる時間が短縮されるとともに、高度なセキュリティレベルの確保が両立されます。

上記の他、チェックイン手続きの効率化等にも取り組み、航空会社や国等関係機関とも連携し、「FAST TRAVEL」を推進することで、より使いやすく、快適な施設の提供に努めてまいります。

■ 「位置図」

インラインスクリーニングシステム(1階、2階)

スマートセキュリティ(2階:保安検査場)

(2階:フードコート等)

(2階:出発ロビー)

到着ロビー増築(1階)

第3ターミナル

第2ターミナル

第3ターミナル専用バス・タクシー乗降場

■ 到着ロビー増築で出発動線と到着動線を分離

現状

到着ロビーの増築による動線分離後

国内線到着手荷物受取場

国際線到着手荷物受取場

国内線到着手荷物受取場

国際線到着手荷物受取場

出発ロビー(2階)へ

到着ロビー

到着ロビー

第3ターミナル1階

新たな到着動線

ターミナル連絡バス乗降場

第2ターミナルや第3ターミナル専用バス・タクシー乗降場へ

■ 「スマートセキュリティ」の導入

保安検査レーンの長尺化による効率化

再検査が必要な手荷物の自動仕分けによる効率化

自動トレイ搬送システムによるお客様及び保安検査員の負担軽減

同時に複数の旅客が寄り付くことが可能なため、保安検査準備が効率化

高性能X線検査装置による保安検査の高度化

入口側

出口側

旅客動線

● : 旅客